

JAL、2025年度の使い捨てプラスチック削減目標を達成 ～客室・ラウンジにおける新規石油由来プラスチックを全廃～

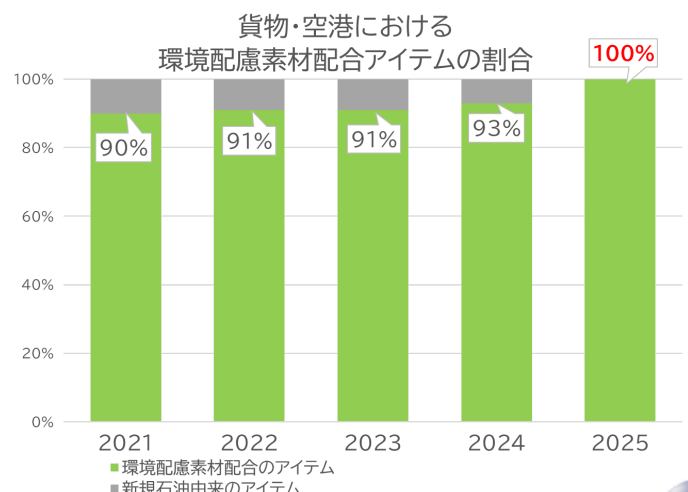
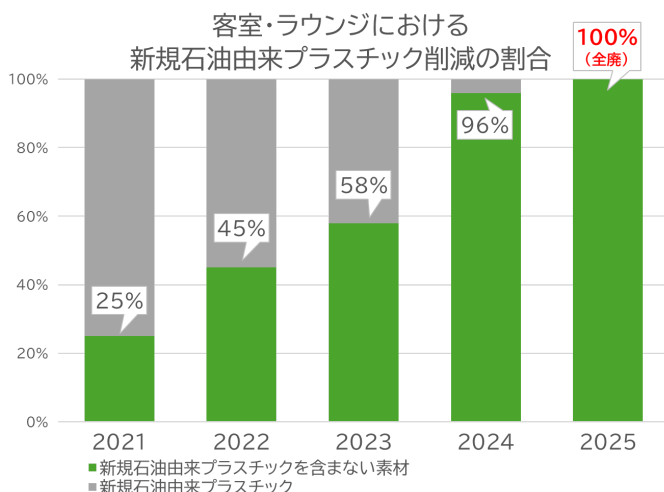


6月5日は「世界環境デー」

JALグループは、「2050年CO₂排出量実質ゼロ」に向けて、着実に実績を積み重ねてまいります

JALグループは、豊かな地球を次世代に引き継ぐ責任を果たすため、限られた資源の有効利用に取り組んでいます。3R(Reduce/Reuse/Recycle)+1(Redesign)を推進し、特にお客さまに提供する全ての使い捨てプラスチック(自社規格アイテム)については、2025年度までの削減目標を定めて取り組んでまいりました。
(*1)JALグループの2025年度のGX経営目標とともに、このたび、JALはプラスチックの削減についても2025年度の経営目標を達成しました。(*2)





- ✓ 客室・ラウンジにおける、新規石油由来の全廃 100%達成
- ✓ 貨物・空港における、環境配慮素材配合(*3)への変更 100%達成



■これまでのプラスチック削減の取り組み



使い捨てプラスチックは、製造・焼却時にCO₂を排出し気候変動の一因となる上、生分解性が低く海洋汚染や生態系への深刻な被害をもたらしています。JALグループは、新規石油由来の使い捨てプラスチック削減のため、まずはそのアイテムの必要性を見直すところから始め、「Reduce」を最優先に検討しました。衛生上の理由やサービス上の観点から廃止できないアイテムはお取引先さまにもご協力いただきながら、再利用できるように製品を設計し直したり、新規石油由来でない代替素材への切り替えたり、対応を進めてきました。(*4)

<全社横断の取り組み例>

客室	ラウンジ	空港	貨物
 <p>廃棄となる副菜容器をアップサイクルしたキャップとバイオマス100%の歯ブラシ</p>	 <p>お客さまにスプーンでお取りいただく形式に変更</p>	 <p>国際的な認証を受けた木材を使用したマタニティマーク</p>	 <p>マスバランス方式を採用したバイオマス素材のストレッチフィルム</p>
<p>機内で提供しているお食事の容器や、歯ブラシやスリッパなどアメニティの素材・包材を多数変更しました。</p>	<p>サービス形態を変更し、ご利用いただくおしぼりやお食事の個包装を廃止しました。</p>	<p>お預けの手荷物を梱包するビニール袋を廃止したほか、お配りするマタニティマークには木製を導入しました。</p>	<p>貨物の濡損防止のために使用する資材類を、環境配慮素材を配合したものに変更しました。</p>

■資源の有効利用の取り組み

使い捨てプラスチック削減以外にも、機内ごみのリサイクルや食品廃棄の削減など、限られた資源の有効利用に取り組み、サーキュラーエコノミーの実現を目指しています。

機内ごみのリサイクル	食品廃棄の削減
 <p>機内で使用した紙コップのリサイクル</p> <p>2022年12月より日本製紙グループと共同で、機内で使用した紙コップのリサイクルに取り組んでいます。累計で約16,340kgをリサイクルし、2024年6月には、国内線一部便にて水平リサイクルによる再生紙コップの搭載が実現しました。また、回収した紙コップを紙系ヘリサイクルし、原料の一部に使用したタオルやポーチなども、「JAL SKY MUSEUM」で販売しています。</p>	 <p>規格外の岩津ねぎを使用した、凸凹スープ</p> <p>大きさや形などが規格外であるとして、出荷されずに廃棄される予定の食材を使用したスープをラウンジで提供しています。またJALロイヤルケータリングでは、機内食調理で発生する残渣の削減に取り組み、2025年度は廃棄率2.5%以下の目標を達成しました。さらに、発生した残渣の堆肥化も実施しています。</p>

これからもJALグループは、新規石油由来の使い捨てプラスチック削減をはじめ、限られた資源の有効利用に努め、気候変動への対応や生物多様性の保全と資源循環に向けて挑戦を続けてまいります。

(*1)「2021-2025年度JALグループ中期経営計画」 URL:<https://press.jal.co.jp/ia/release/202105/006065.html>

(*2)2026年4月28日付プレスリリース URL:<https://press.jal.co.jp/ia/release/202604/009506.html>

(*3)バイオマス・再生プラ・認証紙など新規石油由来の原料を不使用もしくは低減したアイテム。

(*4)旧アイテムの在庫がなくなり次第、順次新仕様品を提供します。